

- “世界最先端技術の発信拠点へ”
『ワイヤレス・テクノロジー・パーク(WTP)2008』
無線通信技術・研究開発の専門イベント

- 2008年4月16日

独立行政法人情報通信研究機構(以下「NICT」という。理事長:宮原 秀夫。)は、YRP研究開発推進協会、YRPアカデミア交流ネットワークと共催で、2008年5月13日(火)～14日(水)の両日に、『ワイヤレス・テクノロジー・パーク(WTP)2008』をパシフィコ横浜において開催します。

今年で3回目を迎える本イベントは、ワイヤレス通信分野の最新の研究開発や標準化の動向の紹介を行うため、約50機関による展示交流会、7つのテーマによるコンファレンスプログラム、17機関が参加するアカデミアセッションにより構成されています。(参照:別紙1 & 2)

本イベントでは、ワイヤレス通信技術分野の“今”と“これから”を俯瞰できるとともに、国内外の関係者との様々な交流が図れるなど、この分野における新たな発見と理解につながる有益なイベントとして開催致しますので、多くの皆様方のご来場をお待ちしております

記

【開催概要】

- 日 時: 平成20年5月13日(火)～14日(水)
10:00～18:00(最終日は17:30まで)
- 会 場: パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)
<http://www.pacifico.co.jp/index.html>
- 主 催: 独立行政法人情報通信研究機構、YRP研究開発推進協会、YRPアカデミア交流ネットワーク
- 後 援: 総務省、文部科学省、神奈川県、横須賀市 他多数(参照:別紙3)
- 協 賛: 情報通信月間推進協議会
- 参加費等:
 - (1) 参加費: 事前申込登録により無料
(一部有料コンファレンスを除く。)
 - (2) 申 込: “ワイヤレス・テクノロジー・パーク2008”公式サイト『来場者事前登録』ページ
(<http://www.wt-park.com/wtp.php?register/>)から、事前にお申込み下さい。
 - (3)「WTP2008」実行委員会(参照:別紙4)

＜広報 問い合わせ先＞

総合企画部 広報室

栗原 則幸

Tel: 042-327-6923

Fax: 042-327-7587

＜イベントに関する問い合わせ先＞

情報通信研究機構

新世代ワイヤレス研究センター

高野 潔、樽松 八平

Tel: 046-847-5050

Fax: 046-847-5059

別紙1

【イベント概要】

■ 展示交流会

国内外の無線通信技術・研究開発をリードする研究機関、電気通信事業者、ベンダー等の約50機関(別紙2)が一堂に会し、最新の無線通信技術や研究開発の動向の展示を行います。

NICTでは、電波の利用環境に応じて無線機群の機能を変更する“コグニティブ無線クラウド”、“生体内外無線通信技術(BAN)”等、18テーマの研究成果を出展します

■ コンファレンスプログラム

以下の7つのテーマに基づき、テーマ毎のスペシャリストが講演を行います。

ブロードバンドモバイル フォーラム	4Gへ向けた発展シナリオ、WiMAX、次世代PHSをはじめ、開発が進むワイヤレス通信規格の最新動向を技術面から紹介します。
光外部変調器とその 放送・通信への応用	光ファイバ無線の基礎から応用、標準化(IEC, TC103)まで、様々な視点により、光外部変調器の最新技術動向を紹介します
高効率アンプの開発	今後の移動通信では、OFDMのようなマルチキャリア通信が主流になると予想されていますが、そのために必要となる広帯域高効率アンプの技術を紹介します。
放送技術と通信技術の連携 フォーラム	放送と通信の連携を支えるシステム技術の最新動向や、それがもたらす市場について紹介します。
Cognitive Radio フォーラム	複数の無線システムの間で連携を図りながら、無線通信システムの高度化を進める新技術、コグニティブ無線の研究成果と実用化への道を紹介します。
技術チュートリアル	複雑な技術を分かりやすく解説し、製品開発を進める際の注意点などを紹介する技術チュートリアルを開催します。
テストベッドフォーラム	インターオペラビリティの確保やICT技術を活用した革新的な社会サービスの開発に不可欠なプラットフォームであるテストベッドについて、国内外の事例を交え紹介します。

■ アカデミアプログラム

最新の研究成果、技術移転情報などの発表を行う産学官交流の場として、17機関(別紙2)が展示・プレゼンテーションを行います。

※ 詳細につきましては、“ワイヤレス・テクノロジー・パーク2008”公式サイト(<http://www.wt-park.com/>)をご覧ください。

■ 展示交流会出展者一覧（五十音順）

(株)アイダックス	サイバネットシステム(株)
英国ナラテック社	(社)情報通信技術委員会
アイ・ビー・エス・ジャパン(株)	(独)情報通信研究機構
アジレント・テクノロジー(株)	(財)テレコムエンジニアリングセンター
Aeroflex社	(社)電波産業会
(株)エーイーティー	東光通商(株)
(株)エイビット	(株)東陽テクニカ
NEC	(株)トキメックアビエーション
(株)NTTドコモ	(株)日経BP
(株)エム・イー・エル	日本シノプシス(株)
沖電気工業(株)	日本テキサス・インスツルメンツ(株)
(株)沖ネットワークエルエスアイ	日本テクトロニクス(株)
ガイロジック(株)	日本電信電話(株)
菊水電子工業(株)	日本無線(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)	HUBER+SUHNER AG
(株)KDDI研究所	マルチメディア移動アクセスフォーラム(MMACフ ォーラム)
京浜急行電鉄(株)	(株)ミッシュインターナショナル
コーウェア(株)	理研電具製造(株)
コーンズ ドッドウェル(株)	林栄精器(株)
(株)構造計画研究所	横須賀市
(株)光電製作所	(株)横須賀テレコムリサーチパーク
古河C&B(株)	ローデ・シュワルツ・ジャパン(株)
古河電気工業(株)	YRP研究開発推進協会
小峰無線電機(株)	
(株)コムワース	
(株)サーキットデザイン	

(注) 出展機関は増える可能性あり

4月14日現在：一覧のとおり

■ アカデミアプログラム 参加機関一覧（五十音順）

会津大学	慶應義塾大学	名古屋工業大学
大阪大学	国連ITU研究センター	新潟大学大学院
大阪大学大学院	上智大学	防衛大学
大阪府立大学	上智大学大学院電気通信大学	横浜国立大学
九州工業大学	東京電機大学	早稲田大学
京都大学	豊橋技術科学大学	

(注) 参加機関は増える可能性あり

4月14日現在：一覧のとおり

■後援

総務省	(社)情報処理学会
文部科学省	(社)電気学会
神奈川県	(社)電子情報通信学会
横須賀市	京都リサーチパーク(株)
(財)日本ITU協会	(財)ソフトピアジャパン
(社)電波産業会	(株)横須賀テレコムリサーチパーク
(社)情報通信技術委員会	京浜急行電鉄(株)
(社)電気通信事業者協会	PHS MoU Group
(財)インターネット協会	(社)日本インターネットプロバイダー協会
(有中)日本ICカードシステム利用促進協議会	(株)YRP事業開発研究所
(社)日本自動認識システム協会	(社)日本ケーブルテレビ連盟
(社)デジタル放送推進協会	(財)デジタルコンテンツ協会
(財)テレコム先端技術研究支援センター	(社)全国陸上無線協会
情報通信ネットワーク産業協会	(社)テレコムサービス協会
(社)映像情報メディア学会	(財)電波技術協会
可視光通信コンソーシアム	WiMAXフォーラム

■「WTP2008」実行委員会

実行委員長:	宮原 秀夫	独立行政法人情報通信研究機構 理事長
実行副委員長:	齋 昭男	YRP研究開発推進協会 会長
特別顧問:	羽鳥 光俊	YRP研究開発推進協会 名誉会長・中央大学 教授
実行委員会:	秋葉 重幸	(株)KDDI研究所 代表取締役所長
(五十音順 敬称 略)	岩渕 英介	富士通(株)常務理事 兼 モバイルシステム本部長
	大森 慎吾	(独)情報通信研究機構 理事
	川田 隆資	(社)全国陸上無線協会 会長
	佐藤 昌弘	京浜急行電鉄(株) 専務取締役 地域開発本部長
	杉本 俊一	横須賀市 副市長
	野村 雅行	NTTコミュニケーションズ(株) 代表取締役副社長
	萩原 英二	パナソニック モバイルコミュニケーションズ(株) 常務取締役
	服部 武	上智大学 理工学部 教授
	平田 康夫	(株)国際電気通信基礎技術研究所 代表取締役社長
	広崎 膨太郎	日本電気(株) 代表取締役 執行役員副社長
	松下 政好	沖電気工業(株)常務取締役
	松藤 静明	神奈川県 商工労働部長
	森永 規彦	広島国際大学 学長
	山田 隆持	(株)NTTドコモ 代表取締役副社長